

市歌制定に向けて 検討が始まりました

7月4日、2回目となる「市歌制定委員会」が開かれました。

これは合併10周年に併せて市の歌を創るもので、市の一体感の向上を図る目的です。

委員会では市内小中学生のアンケート結果報告や、歌詞に「下野（しもつけ）」を盛り込むなどを決めました。

歌詞の募集は8月1日から行います（詳しくは4ページをご覧ください）。



秋には色とりどりの 花が彩ります

6月28日、石橋南部環境保全会と地域の皆さんが、地域の景観形成活動としてコスモスの種まき及びマリーゴールドの植栽を行いました。

コスモス畑では全長約1・6kmに、30cm間隔で約1万株のコスモスの種をまき、市道路肩では約1kmに渡り設置した200箱のフラワーボックスに800株のマリーゴールドを植栽しました。初秋には、色とりどりのコスモスやマリーゴールドが綺麗な花を咲かせることでしょう。



自然災害から身を 守る方法を親子で 話し合いました

7月2日、吉田西小学校で「竜巻や落雷などの自然災害から子どもたちの身を守るにはどうしたらよいか」をテーマに宇都宮地方気象台の職員を招き、親子で考える安全教室を開催しました。

児童は、大雨で増水した所は、水に足を取られて危険であること、雷や竜巻の発生には、急に空が暗くなるなどの前兆があること、災害時には自分が一番安全だと思いう行動をとることが大切であることなどを学んだ後、「登下校時や一人で家にいる時に竜巻や落雷になったらどうしたらよいか」を親子で話し合いました。



アユ種苗センター 内覧会



6月19日、谷地賀地区に完成した放流鮎の種苗センターの内覧会が、栃木県漁業協同組合連合会により開催されました。

このセンターは、アユの産卵から稚アユまでの育成を行う施設で、出席した30人の関係者はセンター内の機能について説明を受けました。

同連合会の山野井淑郎会長代理は、「本県アユ漁場の魅力向上、釣り人の集客力強化、アユの消費拡大を図り、豊富なアユ資源の活用による地域活性化にも貢献したい。」と話してくださいました。

空手大会で大活躍！

6月15日、空手の栃木交流試合（鹿沼武道館）で、次の方々が優秀な成績を収めました。おめでとうございます。

○型の部

・小学5年
優勝 江戸 哲心
入賞 高澤 智哉
（緑小）

○組手の部

・高校生
優勝 古内 一成
・小学5年A
優勝 江戸 哲心
（薬師寺小）
・小学5年B
優勝 高澤 智哉
（緑小）
・小学4年A
準優勝 飯野 幸太
（国分寺小）
・小学4年B
準優勝 中嶋竜二郎
（祇園小）

